

Girl Scouts Activity Report

CHALLENGE
CHANGE
FOR HER WORLD
Girl Scouts of Japan

ガールスカウト活動報告 2021.4 ▶ 2022.3

2021年は、新しい戦略計画の下、次の100年に向けてスタートしましたが、コロナ禍の影響で2020年に引き続き、困難の中での一年となりました。オンラインなどのICTを活用し、少女会員の活動や指導者トレーニングなどに前向きに取り組みました。そして少女と女性の声を社会に届けました。



2021年度の
100周年事業に
関わった人数：
4,534人

わたしが変わる。未来が変わる。

ガールスカウトは
少女と女性の視点に立って、より幸せな社会と未来の実現を目指し、
リーダーシップを発揮できる人材を育成するとともに、
社会に変化をもたらすチェンジエージェントとして行動します。

2020年、
日本のガールスカウト運動は
100周年を迎えました。



SDG5「ジェンダー平等を実現しよう」の達成を目指して 少女と女性の声を届ける

ガールスカウト日本連盟は、100年にわたり「自ら考え行動する女性」を育てるため、独自のプログラムにより取り組みを進めてきました。近年、女性のリーダーシップへの期待や、技術革新の急速な進展など、女性を取り巻く環境は大きく変化し、「女性の活躍」のための施策が各方面でみ

られているものの、女性の力が十分に発揮できる社会とは言えない状況です。少女と若い女性たちが、自身の持つ力を最大限に発揮できるようになることを目指して取り組んでいます。



日本のガールスカウト運動100周年記念事業

国際ガールズメッセ わたしの声から広がる世界

若い女性たちが社会の課題について共に考え行動していくことを目指し、2日間にわたり国際ガールズメッセを開催しました。



10月9日(土)「世界のジェンダー」を学ぶ
10月10日(日)「日本のジェンダー」を学ぶ
参加数(デバイス数):1,325
モザイクアートメッセージ:1,140枚

ゲストスピーカー

山口絵里子(株式会社マザーハウス代表取締役)
辻愛沙子(株式会社arca代表)
野田聖子(衆議院議員)
伊藤孝恵(参議院議員)
林伴子(内閣府男女共同参画局長)
谷口歩実(#みんなの生理代表)
能條桃子(一般社団法人NO YOUTH NO JAPAN代表)



ユースメッセンジャーの活躍

国際ガールズメッセの取り組みの一つとして、ユース年代が中心となって世界のガールスカウトと交流するイベントを企画実施し、各国のジェンダーをめぐる状況の問題点を話し合いました。
交流海外連盟:25連盟(58グループ)
ユースメッセンジャー107人、メンター54人参加



コミュニティアクション チャレンジ100 アワード

少女と女性の視点に立ち、社会に良い変化をもたらす優れたプロジェクトを表彰しています。一般からの応募を含む30件の応募があり、5つのチームを表彰しました。

コミュニティアクション賞 2グループ

- ・ジェンダーフリーな制服を目指そう
(三田国際学園高校生徒会 企画担当部)
- ・見過ごしジェンダー問題ゼロプロジェクト
(ジェンダー意識高いteen)



社会課題に取り組み行動を起こす

レンジャー online ミーティング our voices will change the world

「リプロダクティブ・ヘルス/ライツ (性と生殖に関する健康と権利)」について専門家の講義を聞き、自分の身の周りの課題を見つけ、行動を起こすための企画を考え、実際に取り組みました。

取組期間：9月～3月

参加人数：高校生14人、サポートの指導者14人

ビジョン、ゴール	ビジョン	意思決定者
性に関する間違った情報を信じないように、正しい知識を発信でき、性教育を正しい場から学べるようにし、自決進をせる。	成功者	
ゴール	影響を与える人	
インターネットなどで調べた時に見るのが偏った情報とかで悩んでいるいたり、フェイク情報を信じている人を減らす。	教育委員会	
目標	目標	目標
自分の意見を言う	イベントなどで自分が意見を言えるようにする	
活動	活動	活動
政治家へ意見を書いていく	知らせる。	



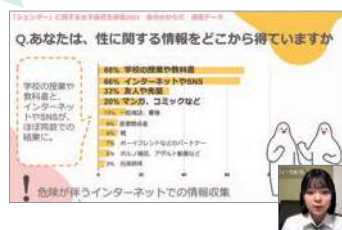
GE (ジェンダー平等) バッジプログラムの開発

SDGsの目標5「ジェンダー平等の実現」を達成するために年少年代から成人まで幅広く取り組めるオンラインプログラムと対面でのプログラム、指導者用ガイドブックを開発し完成させました。



国際女性デーイベント

「私たちの世界、私たちの平等な未来」



「環境問題とジェンダー」「防災とジェンダー」「健康とジェンダー」の3テーマについて、自分事として考え行動を起こすことの大切さを学びました。

(2022年3月) YouTube Live

対象：中学生以上

のべ視聴者数：343人



水汲みで途上国の少女と女性を支援する 「歩く国際協力・Walk in Her Shoes」

(公財) ケア・インターナショナルジャパンが主催する歩く国際協力「Walk in Her Shoes」キャンペーン。全国から高校生のガールスカウト42人がジュニア・アンバサダーとして活躍しました。



女性に対する暴力をなくすための活動

女性に対する暴力をなくす運動に賛同し、ガールスカウト会館をパープルにライトアップしました。(11月)



大好きなわたし～ Free Being Me

少女の可能性を最大限に伸ばすため、社会で作られたイメージに疑問を投げ、自分の外見を前向きにとらえて自己肯定感を高めるプログラム。ユニバーバ・ジャパン高校生インターンシップにて、「大好きなわたし～ Free Being Me」※をオンラインで実施。(185人参加) ※ガールガイド・ガールスカウト世界連盟とDOVE(ダヴ)が協働開発したプログラムです。



防災・減災への取り組み

自然災害に備え、自分で自分の身を守ることができるよう、取り組んでいます。2022年3月には防災科学技術研究所と共催で「親子防災科学教室」をオンラインで開催しました(参加者数約200人)。

2021年度は705人が防災プログラムに参加しました。



小学生の視点でまちの安全を考える

(一社) 日本損害保険協会主催「小学生のぼうさい探検隊マップコンクール」。

自分の住むまちを探検しながら防災・交通安全・防犯の視点で気付いたことをマップにまとめるコンクールに参加しました。

【デジタルマップ特別賞】神奈川県第53団

【佳作】千葉県第26団、神奈川県第53団

SDG4教育キャンペーン

教育協力NGOネットワーク(JNNE)が主催する世界規模のキャンペーン「SDG4教育キャンペーン2021」。「質の高い教育をみんなに」を達成するために、ガールスカウトからも子ども・ユース代表として参加し、各政党の国会議員および関係省庁担当者へ提言活動をおこないました。

B-Pアワード

ガールスカウト活動を通して得た知識・技術を生かし、高校生年代の優れたプロジェクトに対して授与する最高の賞です。

受賞：7プロジェクト8件

- ・防護服プロジェクト
- ・みんなが生きやすい社会に(2件)
- ・for our future ～ジェンダーバイアスのない社会へ
- ・ジェンダー意識を高めて世界へ羽ばたこう
- ・イツデモボランティア
- ・防災ポーチを広めよう
- ・2020年の私にできること ガールスカウトの力でコロナに負けるな!



少女と女性の力を伸ばす

全国キャンプ

仲間とともに防災をテーマに学びました。野営の予定でしたがオンラインキャンプファイアーで絆を深めました。(9月) 参加者:高校生36人



STEM教育の機会提供

マイクロン財団と広島大学の協力により、「Girls Going Tech特別イベント AIとわたし〜デジタル時代を生き抜く基礎知識〜」を開催。女性がテクノロジーを使いこなす力を身に付ける大切さを学びました。(2022年3月) 参加者:中学生53人



ガールスカウトカフェ

ユース年代の先輩や海外のガールスカウトと中高生がオンラインで気軽に話をすることで、将来に向け、さまざまな選択肢があることを知る機会を提供しました。年間7回開催のべ628人参加

指導者の育成とスキルアップ

養成したガールスカウトの指導者:1,672人
開催した指導者研修会:313回

オンライン指導者研修会

- ・子どものための人権教育リーダー養成 (VAV指導者研修会) 資格取得者 96人
- ・アドボカシー活動を始めるために 151人
- ・アドボカシー活動の支援 98人
- ・GEリーダー育成 資格取得者 150人

組織運営者のスキルアップ(オンライン)

広報研修会 2回
参加者:162人

世界連盟の会議への若者の派遣(オンライン)

- ・第37回世界会議 正代表2人、オブザーバー7人
- ・アメリカ連盟グローバルラウンドテーブル 2人
- ・ヘレン・ストロー セミナー2021 1人
- ・WAGGGSアドボカシーチャンピオン2022 1人

社会貢献活動

東京2020オリンピック競技大会・パラリンピック競技大会への協力

東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会に協力し、大会選手村で放映されるウエルカム動画の作成のため、ボーイスカウト日本連盟と分担し、参加国と地域、選手団の旗掲揚動画を撮影しました。
・掲揚した旗 105本 ・関わった旗手 300人以上(39都道府県連盟)



社会への発信

『「ジェンダー」に関する

女子高校生調査報告書2021

自分のからだ 性と生殖に関する健康と権利 (セクシュアル・リプロダクティブ・ヘルス/ライツ)』発行

女子高校生たちが自分の身体についてどのような心配があるのか、どのような教育を望んでいるのかなどを明らかにするために調査をおこないました。



100周年特設ウェブサイト

100周年事業やガールスカウト応援団などのニュースを掲載。SNSではガールスカウトならではの「100のコト」も掲載しています。

全国で一斉に「ありがとうの輪」

2020年度に引き続き2021年度も5月22日の「ガールスカウトの日」を中心に、全国のガールスカウトが社会を支えてくれる方々へ感謝のメッセージを送りました。



公益社団法人 ガールスカウト日本連盟

〒151-0066 東京都渋谷区西原1丁目40番3号
TEL.03-3460-0701 FAX.03-3460-8383
E-mail: gsj@girlscout.or.jp URL: www.girlscout.or.jp

